

市民の思いは…

「戦争をする国」めざす
安倍内閣はコワイ…

国保料や介護保険の負担が重い
消費税上がって、もう限界…

子育て、教育に、もっと
お金がかからないようにして



日本共产党
市議会議員

伊藤いく子

国にも市長にも、ビシッと言います

●1965年生まれ ●短大卒業後保育士として勤務 ●市議2期



党書記局長・参議院議員
山下よしき
共産党の若きホープ、鳥取大学農学部出身

日本共产党演説会
●10月13日(月・祝)
午後2時開会
●鳥取市文化ホール

©カクサン部!

11月16日・市議選で問われることは…

①憲法をこわす安倍自公政権に 鳥取市から「レンドカード」を

②流れを変えて くらし・子育てを応援する市政へ

國民多数の「反対」の声にそむいて、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を強行した自民、公明。鳥取市から怒りの声を発信しましょう。

消費税増税、年金削減、物価高、医療費の負担増…。市民のくらしは本当にたいへんです。いまこそ、鳥取市政が、市民のくらし、子育てを応援するために、全力でがんばるときです。

鳥取民報

2014年9月号外 連絡先●鳥取市吉方 168-8 TEL(0857)23-6674 FAX24-4491 日本共产党の見解をご紹介します。

“最近の共産党には共感することが多いけど、チョット?...”

—という声にこたえて



市議会議員
伊藤いく子

とも子といく子が語る日本共产党



県議会議員
市谷とも子

「共産党は向でも反対?」
——市民など、「いいもには賛成」、「ダメなもには反対」

いく子 安倍内閣の暴走への怒りとともに日本共产党に対する期待をひしひしと感じます。
とも子 じくに集団的自衛権行使容認の「閣議決定」後、「憲法の条を守つてほしい」という声が党派をこえて寄せられますね。

いく子 「自民も、民主もダメ。今度は共産党を選択肢に…」といふ思はは広くあります。

一方で、「共産党は何でも反対でいや」という人も少なくありません。
とも子 でも私たちは、市民の利益にひとつ良いことには賛成し、悪いことに反対しているわけで、当時の提案に全部反対しているわけではありません。

いく子 鳥取市議会でも、私たち市が提案した議案の83%に賛成しています。でも、国保料や公共料金の値上げなど、暮らしの負担を増やすことには、やっぱり反対しています。

とも子 国会では、日本共产党の賛成で、半分以上の法案は「全会一致」で採択されています。

いく子 他の議員は、市長や国がやるのには「賛成」、市民の請願には「反対」という人がほとんどです。

「他の議員とやつと力をあわせてほじこ」の声も…

とも子 県議団は、市民の願いを実現するために具体策を提案し、党派をこえた共同を大事にしています。市民との共同をひろげ、それを力に、議会の他会派との協力がつくれることも少なくありません。

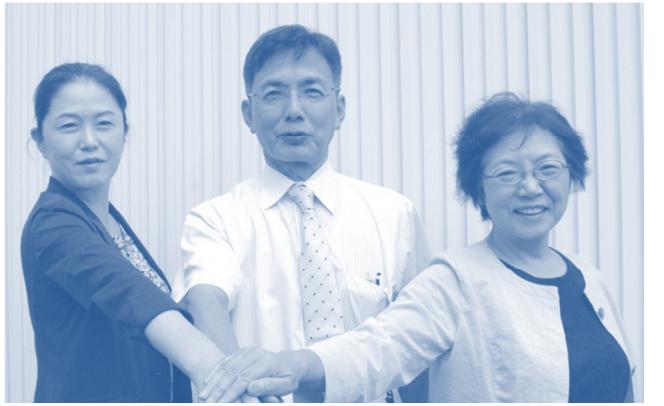
いく子 子どもの医療費助成を拡大することでも、地域でお母さんたちと署名運動をすすめ、その力で議会に働きかけて、中学卒業まで広げることができました。

とも子 中小企業団体のみなさんから、「もっと県内企業への支援を」という要望を受けて、「企業立地補助金」を県内中小企業も使いやすいものに改善するよう、県議会で提案しました。他の議員の賛同も得て実現できました。

私も、「一人ひとりの声と願いが、政治を変える原動力」ということを実感しています。

いく子 ゼひ勝利して、3議席を確保し、市民の願いにこたえて暮らしが応援する市政へ、流れを変えるために、全力でがんばります。





市民と力をあわせて市政を動かす 日本共産党

日本共産党のモットーは「市民こそ主人公」。いつでもどこでも、市民と力をあわせて、市政を動かすために力をつくす党です。



負担を押しつける、市民いじめの“パートナー”?!——市長と与党議員

- * 3議席で切実な願い実現に力づくします
- * 高すぎる国保料、1世帯1万円の引き下げを
- * 介護保険料・利用料の負担軽減を
- * 保育料の引き下げ。小中の全教室にエアコンを
- * 住宅リフォーム助成制度の継続、予算の拡充を
- * 財源はあります……
市が毎年2億円ためてきた財政調整基金(自由につかえる貯金)が、H24年度で15億円に。5年で18倍にも増えています。

支所正職員の人数

支所	H16年	H26年
国府	42人	20人
福部	28人	18人
河原	47人	22人
用瀬	33人	18人
佐治	26人	18人
気高	44人	21人
鹿野	30人	19人
青谷	42人	22人
合計	292人	158人

▼支所の職員は半減、地域の市民サービスが低下

- * 市の公園・スポーツ施設・体育馆で、小中高校生、65歳以上は無料だったところが、500円の有料に。
- * 簡易水道8%値上げ。
- * 人間ドックの全項目検査が「毎年」から「1年おき」に。

▼相次ぐ市民サービスカット、負担増

国保滞納による
差し押さえ件数
H23年122件
連続値上げ後…
H24年276件

- * 自営業の売掛金を差し押さえ。
- * 差押調書も交付せず、養老保険を差し押さえ。
- * 営業用の軽自動車を「売ればいい」と暴言。

1人当たりの国保料
(昨年の調停額、県資料)

鳥取市	93,103円
米子市	85,706円
倉吉市	84,513円
境港市	84,513円
県平均	86,915円

与党議員などの賛成で、H22年、23年には、連続して10%近い値上げが強行されました。収入の1ヵ月分以上が国保料で消えてしまいます。

国保料が高い一番の理由は、国庫負担が4分の1に減らされたからです。国庫負担を元にもどせば、15億円増えます。

▼県内一高い国保料、連続値上げ!

- * 収入200万円の3人家族で20万円

市長は、「市民は都市経営のパートナー」(鳥取市行財政改革大綱)などといっています。しかし、市長や与党議員が手を組んでやっていることを、見てみると…。

貯めこんだ基金は123億円

- サービスカット、負担増、職員削減…
 - * 使用料手数料見直し 21億9千万円
 - * 補助金の削減 25億5千万円
 - * 職員・給与の削減 73億6千万円
- (市行財政改革大綱成果概要より)



次はコレ!

市民の暮らしの頼りになるパートナー——日本共産党の実績

- * 小学3年まで子どもの医療費助成を広げる
- * 学校耐震化に道ひらく

日本共産党が議会でくりかえし要求してきた小中学校の学校耐震化が、H27年度までに完了する計画になります。

30年以上前からお母さんたちと運動をすすめ、中学3年までの医療費助成を実現。自己負担(通院1回530円、入院1日1200円)の撤廃もめざします。

少人数学級の実現

小学1、2年で30人、中学1年で33人学級を実現。その他の学年も35人以下とするなど、一気に広がっています。

障がい者就労支援施設への物品発注を30%増

障がい者就労支援施設に仕事や物品の発注を増やすよう、実態調査もおこなつて要求。市は26年度の発注を前年度よりも30%増やしました。

税金が安くなる制度をちゃんと知らせないと追及

不況で納税も大変。「取り立てばかり考えないで、税金の減免制度を市民に知らせなさい」と議会で発言。市は減免制度についてホームページに掲載。納税緩和措置についても追及すると、徴収課で掲示・配布をはじめました。

